

みずほCustomer Desk Report 2024/11/13号(As of 2024/11/12)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	153.82 AUD/USD
TKY 9:00AM	153.52	1.0663	163.69	1.2873	0.6578
SYD-NY High	154.92	1.0663	164.30	1.2873	0.6581
SYD-NY Low	153.41	1.0595	163.25	1.2719	0.6515
NY 5:00 PM	154.62	1.0624	164.31	1.2747	0.6532
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	43,910.98	▲ 382.15	日本2年債	0.5000%	0.0100%
NASDAQ	19,281.40	▲ 17.36	日本10年債	1.0000%	0.0000%
S&P	5,983.99	▲ 17.36	米国2年債	4.3423%	0.0925%
日経平均	39,376.09	▲ 157.23	米国5年債	4.3144%	0.1229%
TOPIX	2,741.52	1.84	米国10年債	4.4285%	0.1233%
シカゴ日経先物	39,300.00	▲ 380.00	独10年債	2.3525%	0.0285%
ロンドンFT	8,025.77	▲ 99.42	英10年債	4.4990%	0.0760%
DAX	19,033.64	▲ 414.96	豪10年債	4.5640%	▲0.0250%
ハンセン指数	19,846.88	▲ 580.05	USDJPY 1M Vol	10.37%	0.23%
上海総合	3,421.97	▲ 48.10	USDJPY 3M Vol	10.64%	0.20%
NY金	2,606.30	▲ 11.40	USDJPY 6M Vol	10.53%	0.12%
WTI	68.12	0.08	USDJPY 1M 25RR	▲0.75%	Yen Call Over
CRB指数	279.39	0.47	EURJPY 3M Vol	9.78%	▲0.01%
ドルインデックス	106.02	0.48	EURJPY 6M Vol	9.99%	▲0.02%

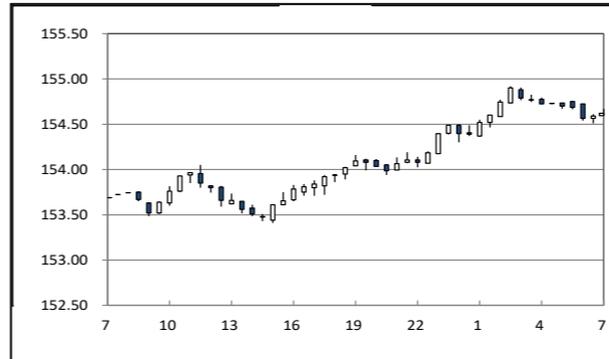
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月12日	08:30	豪 ウェストパック消費者信頼感指数	11月 94.6	-
	09:30	豪 NAB企業信頼感/景況感	10月 5.0/7.0	-
	16:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	10月 0.4%/2%	0.4%/2%
	16:00	英 週平均賃金(除賞与/3ヵ月/前年比)	9月 4.8%	4.7%
	19:00	独 ZEW景気期待/調査現状指数	11月 7.4/-91.4	13.2/-85
	19:00	欧 ZEW景気期待指数	11月 12.5	-
11月13日	04:00	米 カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	「インフレが予想外に上振れた場合、利下げを一時停止する可能性も」	

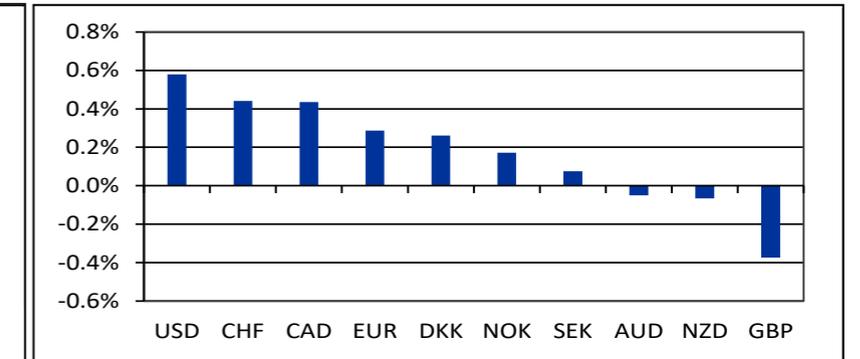
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月13日	22:30	米 カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-
	22:30	米 CPI(前月比/前年比)	10月 0.2%/2.6%	0.2%/2.4%
	23:30	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-
	23:45	米 ローガン・ダラス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	153.50-155.50	1.0550-1.070	163.30-165.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は米金利の上昇とともに、ドル円も底堅く推移。トランプ次期大統領が対中強硬派の選出が噂されている事を受け、米金利の上昇を横目に底堅く推移し、154.07レベルでNYオープン。午前中に発表された米10月NY連銀1年先のインフレ期待が予想を下回るも、ドル円は反応薄。その後も米金利が上昇幅を拡大する動きを背景にドル買いが強まり、154.92まで上伸。午後は買い一巡となり、終盤にかけては154.50付近まで反落し、その後154.62レベルでクロス。一方、海外市場のユーロは1.06台半ばでスタート。米金利の上昇や、独11月ZEW景気期待指数が予想を下回った事を受け、じり安で推移し、1.0620レベルでNYオープン。午前中は米金利が一段と上昇する展開が重しとなり、一時1.06台を割り込み、1.0595まで値を下げ、約1年ぶりの安値を記録。午後は下げ渋り、1.0627まで戻し、その後1.0624レベルでクロス。

東京	東京時間のドル円は153.52レベルでオープン。午前中に米議会選挙で下院も共和党が過半数を獲得することが確実と報じられた事によって、ドル買いが優勢となり154.05まで上昇。午後に入ると、軟調なアジア株を横目に一時153.41まで下落。一巡後は値を戻し、結局153.66レベルで海外時間へと渡った。
ロンドン	ドル円は153.66レベルでオープン。アジア時間の流れを引き継ぎ154.19まで上昇し、154.07レベルでNYへ渡った。ユーロは1.0636レベルでオープン。米国の欧州に対する関税引き上げの可能性から欧州景気減退予想観測が強く、ECBがFRBよりも速いペースで利下げするという市場の思惑から安値1.0607を付けた。尚ユーロStoxx50は1.17%安。ポンドは1.2830レベルでオープン。英国の失業率(9月)は4.3%(予想4.1%)に悪化し、3ヶ月ぶり安値の1.2793をつけ1.2822レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は153円台後半でスタート。米下院選で共和党が多数派を獲得する見方が強まっている事や、トランプ次期大統領の政権人選で対中強硬派の選出が噂されている事を受け、米金利の上昇を横目に底堅く推移し、154.07レベルでNYオープン。午前中に発表された米10月NY連銀1年先のインフレ期待が予想を下回るも、ドル円は反応薄。その後も米金利が上昇幅を拡大する動きを背景にドル買いが強まり、154.92まで上伸。午後は買い一巡となり、終盤にかけては154.50付近まで反落し、その後154.62レベルでクロス。一方、海外市場のユーロは1.06台半ばでスタート。米金利の上昇や、独11月ZEW景気期待指数が予想を下回った事を受け、じり安で推移し、1.0620レベルでNYオープン。午前中は米金利が一段と上昇する展開が重しとなり、一時1.06台を割り込み、1.0595まで値を下げ、約1年ぶりの安値を記録。午後は下げ渋り、1.0627まで戻し、その後1.0624レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。